

土木科のQ&A

学ぶ

□普通科目と専門科目の割合はどのくらいですか。

普通科目が約60%で、残りの40%が専門科目です。

専門科目の割合は、1年生と2年生で29%、3年生で48~62%となっています。3年生では就職・進学の前向きに向けて、普通科目と専門科目の科目の選択制を取り入れています。

□どのような内容（専門科目）を学びますか。

土木科では、私たちが身近に接している、道路、橋、鉄道、公園、トンネル、ダム、空港、港湾、水道、下水道などの公共構造物の設計や施工（工事）を実施することの知識・技術について学びます。また、自然と調和した環境にやさしい快適で安全な街づくりについても学びます。

- ①土木製図……………線や文字など製図の基礎と製作図や設計図などを正しく読み作成する方法などについて学びます。
- ②情報技術基礎……………コンピュータの基礎的知識と情報及びその活用法について学びます。
- ③測量……………地図や図面を作成するための測量理論と測量器械の操作法等について学びます。
- ④土木基礎力学……………道路や橋などの土木構造物や土及び水の力学的性質について学びます。
- ⑤土木施工……………計画に基づいて設計された土木の構造物を造る方法（施工）とその管理法について学びます。
- ⑥土木構造設計……………土木基礎力学で学んだ力学の知識を基礎として、鉄筋コンクリートや鋼（こう）などの橋や梁（はり）、柱などの構造物の設計法について学びます。
- ⑦社会基盤工学……………都市計画や交通施設、エネルギー、環境、防災などの都市生活(社会基盤)の基礎知識について学びます。

□実習ではどのようなことを学びますか。

土木の専門分野に関する基礎的な知識や理論について、実習で実際に確かめ、土木技術者として必要な実力を養成するために学びます。

- ①測量実習（測量器械を使って距離や高さ、角度などを求め、地図や図面をつくります。また、道路や橋などの土木構造物をつくるために必要な作業方法について学びます。）
- ②材料実習（コンクリートの配合設計や鉄筋の強度などについて学びます）
- ③土質実習（土の工学的性質を調べ、構造物の基礎となる地盤の強さについて学びます）
- ④水理実習（水の持つ力学的性質を調べ、水理構造物（ダムや堤防、水路）の設計の基礎について学びます。）
- ⑤課題研究（自主的にテーマを設定し、土木に関する作品製作や調査、研究などを行います。）

□専門科目の課題（宿題など）にはどのようなものがありますか。

工業技術基礎や土木実習などで行った、実験・実習の結果をまとめる提出する報告書の課題があります。その他に、製図や橋の設計など、各科目ごとに課題が出題されます。

□男女比はどのようになっていますか。

男女比は、男子が約90~95%と圧倒的に多く、女子は5%~10%程度と少ないですが、各学年に女子もいます。女子の数は現在1年生に1名、2年生に3名、3年生に5名です。

□どのような資格がとれますか。

土木に関係する国家資格で在学中取得できる資格に、「測量士補、測量士」と「2級土木施工管理技士(学科)」があります。ほかに、小型車両系建設機械免許、小型クレーン免許、ガス溶接技能者、危険物取扱者などがあり、多くの生徒が挑戦し合格をしています。

進路

□平成23年度卒業生の進路状況はどのようになっていますか。

平成24年3月卒業生（38人）

単位：人

就職	公務員	四年制大学	短期大学	高等専門学校	専門学校等
20	4	12	0	0	2

□おもな就職先はどこですか。（過去3年間）

アサヒエンジニアリング、泉組、小澤土木、小野設備工業、神谷建設、鈴木組、中部電力、中部建設協会、東海旅客鉄道静岡支社、中村建設、日管、中日本高速道路、羽田コンクリート、パブリック技建、堀内土木、名工建設、山吉建設、湖西市役所、浜松市役所、静岡県警察、磐田市消防、浜松市消防、自衛隊など

□おもな進学先はどこですか。（過去3年間）

○私立大学：群馬大学、愛知工業大学、愛知産業大学、金沢工業大学、静岡産業大学、静岡理工科大学、創価大学、大同大学、中京大学、中部大学、名古屋学院大学、日本大学、浜松学院大学、福井工業大学など

○専門学校：東海工業専門学校、東海工科専門学校、浜松日建工科専門学校、日本工学院、京都建築大学校など

□どのような職種についていますか。

安全で快適な暮らしを支える社会基盤の整備に携わる仕事に多くの生徒がついています。

○官公庁や公益民間企業（電力会社、鉄道会社、高速道路会社）への就職
工事のための調査、企画、施工管理、検査、維持管理等の業務に携わります。

○設計コンサルタントや測量会社への就職
高度の専門技術で、工事の調査や設計を行い、それを官公庁や施工会社に提供します。

○建設関係民間企業への就職
工事を実施するにあたり施工業務の監督として活躍します。

□女子の求人数はどれくらいですか。

土木の仕事・職場という男性中心の社会だと思っているかも知れませんが、土木科に来ている求人の約8割は男女不問であり、やる気さえあれば、コンサルタントや建設会社等いろいろな分野で活躍できます。

課外活動

□部活動との両立はできますか

土木科生徒の80%が運動部に所属しております。放課後は部活動のため、勉強時間も限られてしまい大変ですが、生徒はそのぶん毎日の授業を大切にして頑張っており、部活動と勉強を両立させています。また、多くの生徒が資格取得や進路目標に向かって一生懸命取り組んでおり、良い成績を収めています。